

(別紙1)

平成22年度 大田区立秋中学校 自己評価 報告書

1 自校の課題及び特色ある教育活動における自己評価

大項目	評価項目	評価の視点	改善策	学校関係者記入欄 コメント
学力の定着	大田区学習効果測定の結果から実態を把握し、考察した上で、確かな学力の定着を図る取組を行っている。	体験や問題解決を取り入れた学習の実施、地域の人材や専門家を活用した授業、毎朝全校一斉の「読書くんくん」、朝学習(漢字ステップ)の実施、放課後補習(算数)の実施、算数少人数指導の実施、コンピュータの活用、学習マニュアル「秋中小の学習」の活用	理科・生活科・総合学習を中心に体験・問題解決を取り入れた学習を継続していく。また、基礎・基本の定着を図るよう今後も継続して取り組む。毎朝全校一斉の「読書くんくん」、朝学習(漢字ステップ)かなり定着してきている。放課後補習も2年目に入り、算数少人数指導の充実とともに成果を上げてきている。今年度は、新たに学習マニュアル「秋中小の学習」を作成し、共通実践を目指し全学年で取り組んでいる。	基礎・基本の定着を図るよう全教職員で継続して取り組んでほしい。
表現力の育成	全教育活動を通して、「話すこと・聞くこと・書くこと」に関する指導の充実を図っている。	校内研究「理科・生活科を通して」  全校朝会等を活用した聞き取り活動の実施、ブックトークの実施、「おすすめの本紹介」、「子どもの窓」の掲示、暗唱活動の実施と発表、昼の校内放送による活動	重点研究として「理科・生活科」に取り組む、研究推進校1年目である。問題解決学習の流れに沿って身に付けた表現力を生かす授業の展開を全学年で定着させていく。児童に定着するように、今後も単元を選んで、継続的に授業研究を通して実践していく。  話の聞き方や、話型を使った話し方が定着し、学習活動への意欲が向上してきているので、継続していく。給食時の読み聞かせについては、本の選定をもう少し考える必要がある。聞き取り活動は毎月計画的に行われ、暗唱活動は、全学年全校朝会や学習発表会「ステップ秋中」において実施し発表をすることができた。	重点研究として「理科・生活科」を中心に今後も授業研究を通じた実践をしてほしい。  さまざまな活動を今後も継続し、話す・聞くなどの力がつくように指導してほしい。
生活指導の充実	全校一致した生活指導体制を構築し、全教職員が一丸となって対応している。	「秋中小10のやくそく」をもとにした生活規範意識の徹底と保護者への理解啓発、生活指導連絡会(毎週金曜日)の充実、生活指導研修会(学期1回)の実施、不審者侵入時の指導体制の整備、スクールカウンセラーとの連携、校内特別支援委員会の実施による対象児童への共通理解	全校一致した生活指導体制は数年前から定着し、成果を上げてきている。週1回の生活指導連絡会で、指導上の課題について共通理解を図り、迅速に対応できている。スクールカウンセラーとの連携もよく、課題のある児童への対応を組織的に考えることができた。約束に基づいた指導が徹底されているが、保護者への理解・啓発の不足が感じられる。	全校一致した生活指導体制は数年前から定着し、成果を上げてきていると思う。
豊かな人間性	豊かな心と社会性を身に付けるための取組を行っている。	地域登校班の編制と集団登校の実施、交流給食の実施(形態、回数)、年間指導計画に基づく人権尊重教育の時間の実施  地域登校班を活用したたてわり班活動の実施、代表委員会の主導による全校あいさつ運動の取組、ユニセフ募金活動の実施	集団登校、交流給食、人権教育に関しては、詳細な実施案をもとに取り組みまれてきている。保護者と連携して集団登校を実施し、安全に登下校できた。年間指導計画にそって、人権指導を行い、児童の人権意識を高めることができた。今後も継続して実施していく。  ・全校あいさつ運動は、学期に1回とし、1年を通して全学年が参加できるようにしていく。 ・月に1回のたてわり班集会和全校遠足で縦割り班を活用して遊ぶ機会をもっている。	集団登校、交流給食、人権教育に関しては、今後も継続して実施してほしい。  今後も活動内容のステップアップを図ってほしい。
開かれた学校	開かれた学校の推進に向けて努力している。	教員間における授業・学級経営等の相互公開、保護者・地域に向けた学校公開の実施、地域を教材とした学習の推進、幼・保・小・中・高の連携を視野に入れた教育活動の推進  保護者・ボランティアとの連携による教育活動の実施、全校一斉の地域清掃ボランティア活動の実施、	学校公開は、学期に1回は実施し授業や生活の様子を参観していただく機会としている。幼・保・小・中・高の連携に関しては、交流行事を継続し充実させていく。  ・保護者ボランティアの申し込みについては、今後もより多くの参加を呼びかけ、連携し行っていく。自分たちの住んでいる町をきれいにしようという意識も高まってきている。	学校公開は、学期に1回は実施し授業や生活の様子を参観する機会として継続して実施してほしい。  ・定着してきた。 ・保護者ボランティアをより多く呼びかけ、連携し行ってほしい。自分たちの住んでいる町をきれいにしようという意識も高めてほしい。

2 指導課事業における自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	評価項目	評価の視点	改善策	学校関係者記入欄
				コメント
学力向上	大田区学習効果測定の結果を分析し、全教員で授業改善に取り組んでいる。	授業改善推進プランの策定、全教員による共通理解、プランに基づく授業改善の実施状況、児童・生徒の学力の向上など	授業改善プランを夏季休業中に策定し、年度末には、自己評価し次年度に引き継ぐようにしている。今後も児童の実態に合わせ、行っていく。	今後も児童の実態に合わせ、行っていく。
	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る授業を行っている。	ステップ学習、繰り返し学習、放課後及び土曜日の補習教室の実施状況(回数や参加人数)、夏季補習教室の状況(回数や参加人数)など	算数を中心に、ステップ学習、補習などを通して習熟できていない児童を中心に熱心に取り組み、成果を上げてきている。担任による放課後補習も本校では取り入れるように努めている。今後もその取り組みを全体の児童の学力向上につなげていく。	児童の実態にあった指導をし、効果を上げてきていると思う。
	小学校外国語活動の充実に努めている。	教材・教具の充実、校内研修体制、ALTとの連携など	教材・教具が充実している。今後も増やしていけるとよい。現在は、フラッシュカードや英語絵本などが充実しているが、電子黒板の利用やCDやDVDなど視聴覚系の英語教材も用意していく。	今後も教材・教具の充実を図るようにしてほしい。
人間力向上	規範意識向上プログラムに基づいた教育活動を推進している。	道徳全体計画・年間指導計画への位置付け、道徳の時間及び各教科等、教育活動における規範意識向上のための指導の充実、規範意識向上プログラムの授業への活用、保護者・地域への啓発など	規範意識の向上については、全教員の指導への取り組み、保護者への啓発を含め、継続して指導を充実していきたい。また、道徳授業地区公開講座では授業公開や講演会を実施したが、保護者や地域の参加を推進する方法を考えていく。	道徳地区公開講座への参加者が増えるように工夫してほしい。
	早寝・早起き・朝ごはんの推進を図るために家庭における基本的な生活習慣の確立を啓発している。	「早寝・早起き・朝ごはん月間」の取組、家庭への啓発など	実態を把握し、「早寝・早起き・朝ごはん月間」に児童にアンケートをとるなどして、取り組んでいる。保健だよりなどで、実態や成果について報告し啓発している。保護者会等でも話題として取り上げていくようにする。	「早寝・早起き・朝ごはん月間」を今後も継続して取り組み、指導していったほしい。
一人一人に向き合う教育	定期的な教育相談を実施し、児童・生徒の心に向き合う教育を推進している。	1年生から6年生までの児童に対する個人面談、夏季休業中における児童・生徒の把握、関係諸機関との連携など	夏季休業中に、三者面談を行い、児童理解に努めた。問題が起こった時は、地区の他校と情報を共有し、指導することができた。さらに、校外や夏季休業中における児童の実態を把握していく。	来年度も夏季休業中の三者面談を継続していったほしい。
	問題行動の未然防止及び早期発見・解決に向けて努力している。	ケース会議の実施、校内研修会の実施、児童・生徒アンケート・面談等による実態把握、スクールカウンセラーや関係諸機関との連携、問題行動対応サポートチームとの連携など	生活指導部の様々な取り組みを中心に問題行動の早期発見、解決を図ることができている。また、スクールカウンセラーとの連携もとれているので継続していく。課題のある児童についてはケース会議で話し合い、指導方針を決め、関係機関とも連携できた。研修会は、一般的なことよりもその児童に対する具体的な方策を学んでいく場とする。	今後も、問題行動の早期発見、解決を図っていくことを確認したい。
教員の指導力向上	校内研究・校内研修を活性化し、教員の指導力向上に努めている。	教員の指導力向上を図るための研修、人材育成、研究授業、学校サポートチームを活用した相談・支援など	校内研究は、研究推進委員会を中心に盛んである。若手教員研修会を月1回実施し、若手教員の指導力向上に努めている。また、事前の授業も含めて全員が公開授業を行い、指導力向上に努めている。今後も継続していく。	研究主任・研究推進委員会を中心に取り組み、指導力向上に努めてほしい。
	授業改善リーダーによる公開授業への参加、指導課主催など校外で行われる各種研修会に参加し、教員の指導力の向上に努めている。	授業改善セミナーへの参加、授業改善リーダーによる公開授業への参観など	授業改善セミナーへは、各教科主任が参加し、毎回職員会議で報告し全員の周知を図っている。今後も校内への伝達を確実にやっていく。	授業改善セミナーへは、今後も参加していきたい。指導力向上に向けて努力してほしい。
む 地域校とつ共くり歩	相互理解と信頼をはくむ開かれた学校づくりに務めている。	週休日等における授業公開、授業における保護者・地域の参画、保護者・地域による授業アンケートの実施など	週休日等における授業公開をし、保護者・地域による授業アンケートを実施し、反省・改善を進めている。	来年度も、開かれた学校づくりに努めていったほしい。

自己評価の「評価」は、4:よく達成されている 3:おおむね達成されている 2:達成が不十分である 1:達成されていないの4段階で行う。

記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価は適切ではない C:評価のための資料が不足している D:評価は不可能である の4点で行う。

保護者様  
関係各位

大田区立萩中小学校  
校長 小刀 稱 進

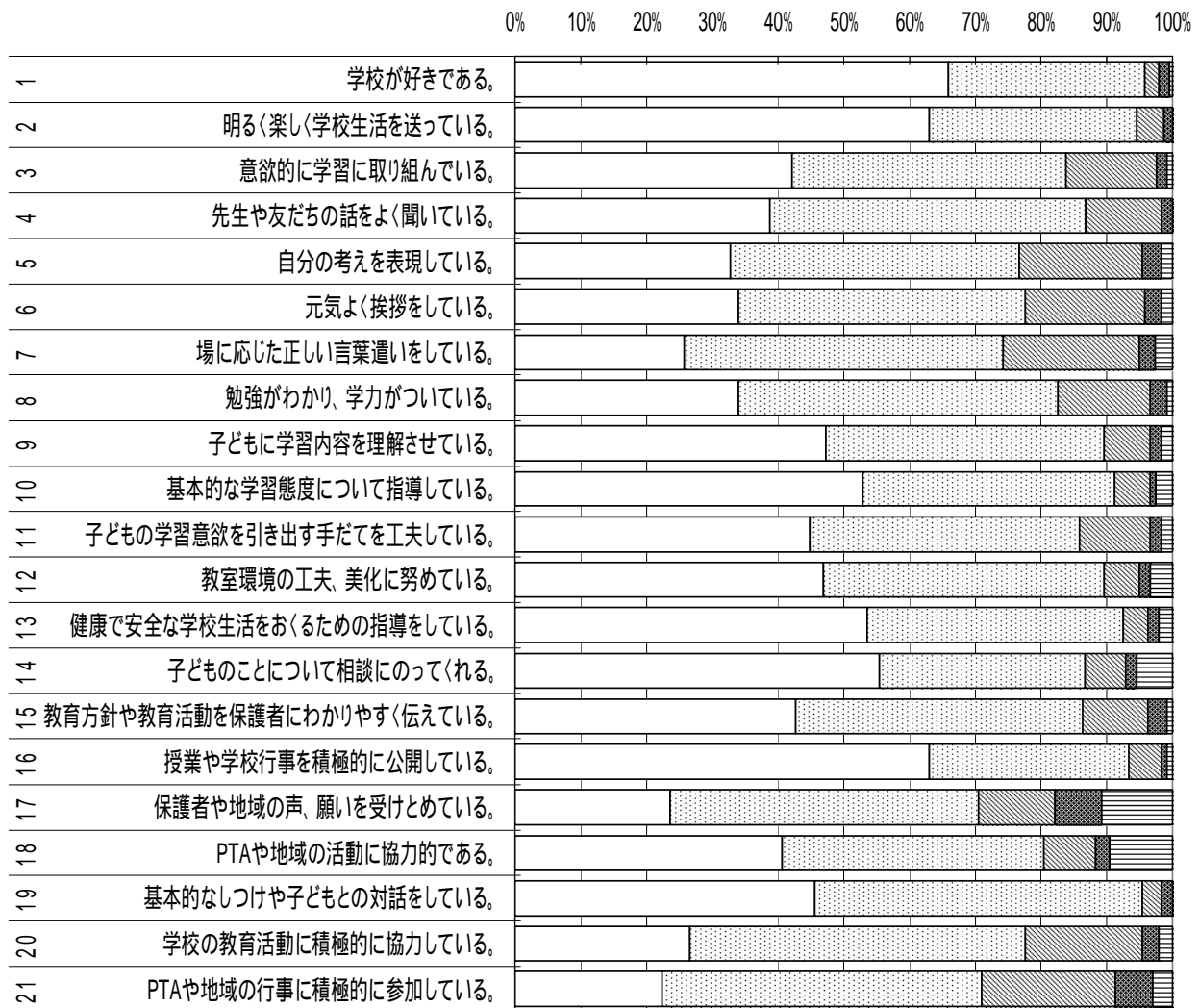
## 教育アンケートの結果についてのご報告

まだ寒さの残る中、今年も梅の花の美しく咲き始めました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

12月に行いました本校の教育に関するアンケートでは、保護者の皆様より74%のご回答をいただくことができました。ありがとうございました。アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告をさせていただきます。この結果につきましては、本校の教育を向上させていくため、今後の学校経営における貴重な資料とさせていただきます。

また、いただきましたご意見には真摯に耳を傾け、改善が必要なこと等につきまして検討したうえで、今後の学校経営に生かして参ります。ご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 1 集計結果



□そう思う □ややそう思う ■あまりそう思わない ■思わない ■目わからない

## 2 アンケート結果から

### (1) 子どもたちのようすについて

学校が好きである 明るく楽しく学校生活を送っているとの設問に、95%以上の保護者の方が、肯定的(そう思う・ややそう思う)に感じていることを大変うれしく思います。しかし、あまりそう思わない・思わないと感じている保護者の方が約3%いることに対しまして、まだ一人ひとりの子どもたちに対して学校として十分な手立てがなされていないことの表れであると受けとめております。教職員間での共通理解や情報の共有に努めるとともに、教員研修を重ね、個に応じた指導を一層推進してまいります。

学習への意欲的な取り組み 先生や友達の話をよく聞くことについては約80%の方が肯定的に見ていますが、自分の考えを表現するについては80%にわずかに達しません。また、元気よく挨拶をしている 正しい言葉遣いをしているとの設問では肯定的に見ている保護者は78%、75%と、やはり80%に達していない現状です。表現力や元気な挨拶、正しい言葉遣いは、学校でも重要ととらえ、年間を通して取り組みを行っているところです。特に表現力については、研究課題として取り組むとともに、学校生活全体の中で継続して指導し、家庭や地域と協力していく必要があると感じております。

学力がついていると感じている肯定的な評価は83パーセントありました。これは国や東京都、大田区がそれぞれ行った学力に関する調査の結果にも表れていますが、ステップ学習を充実させることや問題解決学習を進めていくこと、授業や指導方法を工夫し子どもたちに確かな学力を高めていくよう、さらに努めてまいります。

### (2) 教職員について

学習内容を理解させている 学習態度について指導しているについては90%近くの方が肯定的に捉えています。学習意欲を引き出す手立ての工夫についても、89%の方が肯定的にとらえており、一定の評価をいただいたものと受け止めております。子どもたちが興味をもって学習に取り組むことが学力を向上させるためには大変重要です。そのため授業の質の更なる向上を目指し、研究授業等の校内における教員研修の充実努めてまいります。

教室環境の工夫・美化 健康・安全に関する指導 教職員は相談にのってくれるにつきましては90%近くの肯定的な評価をいただいておりますが、子どもたちと正面から向き合い、児童理解を深めていくことが今後ますます重要であると考えております。今年度も、夏季休業中の面談には児童を加えた三者面談を実施いたしました。これもその取り組みの一環としてさらに充実させてまいります。

### (3) 本校の教育について

授業や学校行事の公開については90%以上の肯定的な評価をいただいておりますが、教育方針や教育活動の説明 保護者・地域の願いを受けとめるについては18%の方が否定的な評価をしています。今後も更なる努力が必要だと受けとめております。様々な機会や方法で教育方針や教育活動の様子についてわかりやすくお伝えしていきたいと考えております。

学校のPTA・地域への活動に協力的であるにつきましては、80パーセント以上の肯定的な評価をいただいておりますが、昨年度に比べ、10%低下しています。この原因を究明し対策を講じるとともに、保護者・地域の方々との連携・協力を目に見える形で一層進めていきたいと考えております。

### (4) 保護者について

保護者の方が基本的なしつけや子どもとの対話を大切にしているが95%と高く、大変うれしく心強く思っております。学校と家庭との連携にさらに努め、基本的な生活習慣や規範意識の向上を目指し、取り組んでまいります。

学校の教育活動に積極的に協力していることにつきましては78%の方が肯定的に評価していますが、20%の方が否定的に感じておられます。これは学校の敷居がまだまだ高く足を運びにくかった

り、教職員への相談がしにくかったりする現状があるものと受けとめております。開かれた学校づくりを一層推進するよう努めてまいります。

またPTAや地域行事への積極的な参加につきましては70%以上の方が肯定的に評価されています。反面お仕事の都合もあり、参加しにくいとのご指摘もあります。日々お忙しい中で参加されていることに感謝申し上げますとともに、学校としても可能な限り日程調整等でご協力したいと考えております。

#### (5) 自由記述欄

貴重なご意見を多数いただきまして、ありがとうございました。このご意見を参考として、次年度に向け検討を重ね、さらなる改善を図ってまいります。

##### 学習に関して

いつも元気に楽しく学習し、意欲的に学校に通っている。次年度から学習時間が増えたりして大変だろうが、活気あふれる授業であってほしい。

学校に自然園があり、いろいろな植物や作物もあり、子どもたちが機械的ではないものに触れる機会があるのは、とてもよいことだと思う。

補習の時間を作ってほしい。

「ステップ萩中」は、発表と製作を同時に行うので、子どもも先生も忙しい。授業ができない分、宿題が増えるので余裕がなくなる。

・現在3年以上では、区の学習指導講師と教員による放課後補習・土曜補習を年間140時間以上行っており、算数科における児童の基礎・基本の学力定着に大きな成果を上げています。低学年では、主に担任による放課後補習を実施しております。放課後教員は会議や出張でなかなか定期的な日程が組みにくいという課題がありますが、個別指導によって学力の向上が図られるよう、効果的な補習を実施してまいります。

・学校だより等で何度かご説明させていただいていますが、「ステップ萩中」は完成した作品や発表を見ていただくものではなく、学習の過程をお見せするものです。従って授業は通常通り行います。しかし、展示する作品の製作に時間がかかる場合もあり、次年度は製作開始期間を早めに設定するなど、直前に過度に忙しくならないよう改善に取り組みます。

##### 学校生活に関して

クラスには個性的な児童が多いが、荒れもなく、友人関係もよく、協力的で、担任の力量に感謝している。

登校班やたて割り遊びなど、異学年とのかかわりの中で学ぶことが大きかった。

「萩中10の約束」などを見ると、ごく当然のことなので笑ってしまったり、ここまでルールがあるのと笑ってしまったり。厳しい時代なのだと実感した。

登校時の班集合では、保護者や朝会の方に「おはよう」の挨拶がない。町会の方から、「おはよう」と声をかけても返事をしない子がいる。

・「萩中10のやくそく」「学習のやくそく」は、萩中小学校の生活や学習のマニュアルであり、全校児童が共通して守る心得です。内容はご意見のとおり、ごく当たり前のものが多いのですが、子どもたちの意識を高めるために、文章化して配布し、学校と家庭が心を合わせて指導することにより、定着化を図ることが重要と考えます。ご理解とご協力をお願いいたします。

・「あいさつ」につきましては、本校の生活指導の重点項目として継続的に指導に取り組んでいるところです。しかしご指摘のように、まだ、徹底されていないのが現状です。改善への取り組みとしましては、昨年度から子どもたち自身の手であいさつ運動を行っています。学年ごとに曜日を決めて玄関に立ち、登校してくる児童に「おはようございます」と元気に呼びかける活動です。この取り組みをさらに充実させ、保護者の方や地域の方に元気で気持ちのよいあいさつができるよう継続して指導に努めてまいります。

## 学校行事について

全校遠足廃止はどうして聞き入れてもらえないのか。

白萩祭やもちつきがなくなるのはさびしいし、親として学校とのかかわりが減って、もの足りない。

・全校遠足については、ねらいや意義を何度かご説明しているところです。6年の負担が重いとのご意見ですが、現地に到着した後、一緒に遊び一緒にお弁当を食べる、約1時間30分ほどの班活動です。それ以外は6年生に負担はありません。低学年の児童は、これをよい機会に高学年のお兄さん・お姉さんに親しみと信頼を深めることができます。6年生にとっては下級生のお世話をすることで最高学年としての自覚と責任をもつことになると考えます。実施計画を適切に見直しながら、次年度も全校遠足を行ってまいります。(社会科見学や生活科見学を学年ごとに、別途実施しております。)

・もちつきはPTAの都合により昨年度から中止となっています。白萩祭は楽しみにしていた児童もおり残念でしたが、学習指導要領の改訂に伴う授業時数確保の観点から取りやめております。ただ無くするだけではご意見のとおりさびしいと感じられる方々もあるので、ステップ萩中や、運動会、全校遠足等の内容を更に充実させていくことや学年学級の特別活動の時間の充実と工夫を図っていきます。ご理解をお願いいたします。

## 保護者・家庭について

PTAの活動が多い。今時主婦ばかりではない。フルタイムで仕事しているのに登校班など難しい。

PTA活動のポイント制が理解できない。直接意見がいいにくい。学校からアプローチしてほしい。

・PTAのポイント制と活動内容に対するご意見を多くいただきました。昨年度も回答させていただきましたが、子どもたちの成長のためには家庭・地域・学校の協力・連携が不可欠であり、PTAの活動もそのためのものです。しかしあまりにご負担があっては、活動は長続きしないのも事実です。ポイントの件や活動のあり方については、PTA役員会や常任委員会等で議論を深めていただけたと思いますが、いずれにしても学校として効率的で充実したPTA活動となるよう今後とも努力してまいります。

## その他

開校記念日は休日ではなく、登校日にしてほしい。

学校に行けるときの便利の内容が、あまり学校に来てほしくないのかという印象を受ける。

大地震に備えて、校舎の補強等、行われているのか気になる。

正門前の道路が危険であるが、先生方の朝の見守りが今年は特に少ない。

特定の子どもばかりでなく、ひとりひとりに大舞台で活躍する場を与えてほしい。

・授業時数確保のため、大田区教育委員会の方針にそって、次年度から、開校記念日は登校日となります。よろしくをお願いいたします。

・学校にお出でいただき、児童の活動をご覧いただきたく、ご案内をしております。そのように思われる文面がありましたら、お詫びいたします。ぜひ、お出でいただきたく、改めてお願いいたします。

・大田区立の学校は、耐震補強工事がすでに完了しています。ご安心ください。

・教員による看護当番体制を組んでおり、毎日担当の教員が見守りを行っています。手薄であるとのご意見ですので、今後更に強化する方向で改善いたします。

・ご自分のお子さんの活躍の場が少ない、物足りないとお感じのようですが、特定の子ばかりが活躍の場を与えられているということはありません。公平に活躍する機会を設けております。もし、そのようなお感じのときは、遠慮なく担任にお申し出ください。ご説明させていただきます。

\* 学校評価アンケートのご提出ありがとうございました。いただいたご要望やご意見を生かし、よりよい萩中小学校にするための貴重な資料とさせていただきます。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。このアンケートの結果は、萩中小学校のホームページにも掲載いたします。